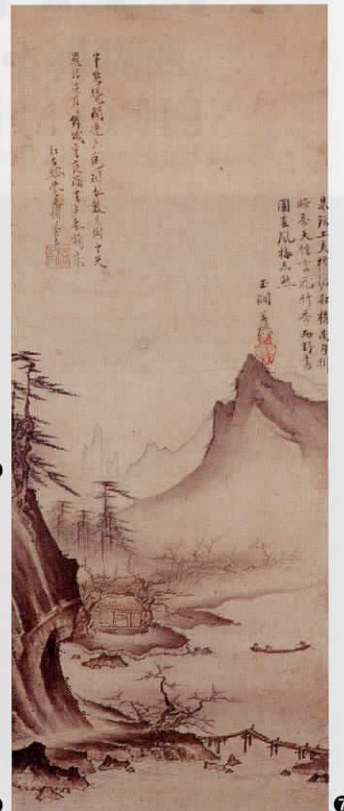
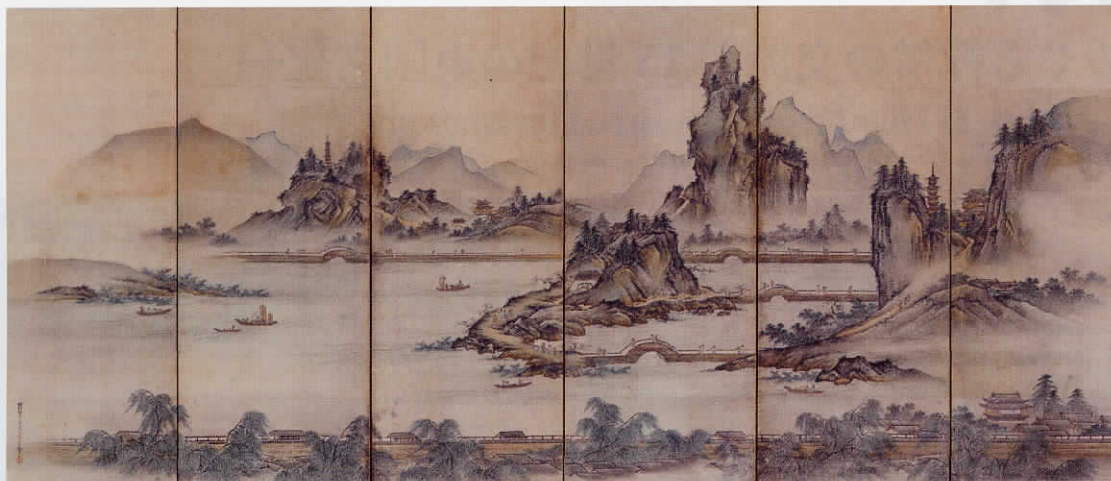
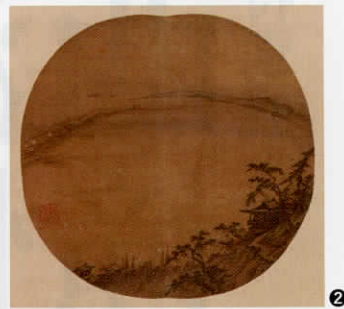


# 西湖憧憬

「金沢八景」という名称は、中国の「瀟湘八景」に由来しますが、中世以来内海が広がる金沢の風景は杭州の西湖のイメージにも重ねられました。鎌倉幕府滅亡後も、金沢の風光は古都鎌倉の栄枯盛衰の郷愁をまといながら室町時代の禅僧たちを魅了しました。万里集九(1428~1507)は鎌倉の禅僧の案内で金沢称名寺を訪れ、金沢北条氏がかつて杭州から移植したという「西湖梅」にちなみ漢詩を残しています。この頃、鎌倉五山文化の中心にいたのは、玉隠英瑛や上洛して室町將軍家の宋元画に学び東国に清新な画風を伝えた祥啓でした。

本展では、瀟湘八景図や入明した雪舟が日本にもたらしたといわれる西湖図の系譜から唐土景勝図の受容の諸相をひもとくとともに、「西湖梅」をめぐる禅僧たちの交流を手がかりに15世紀の東国文化の成熟をご覧ください。



①狩野元信筆 西湖図屏風 室町時代 出光美術館(前期) ②銭塘観潮図 南宋時代 MIHO MUSEUM(後期)  
 ③渡唐天神図 明時代 九州国立博物館(後期) ④重要文化財 祥啓筆 瀟湘八景図画帖 室町時代 白鶴美術館  
 ⑤祥啓筆 花鳥図 室町時代 神奈川県立歴史博物館(後期) ⑥古今和歌集(見返し) 室町時代 群馬県立土屋文明記念文学館 ⑦重要美術品 玉隠英瑛賛 梅溪図 室町時代 静嘉堂文庫美術館(後期)  
 ※会期中展示替えがあります。

## ◆関連行事◆

### ①特別講演会(事前申込制)

9月29日(土) 山下裕二氏(明治学院大学教授)  
 「室町水墨画と西湖一雪舟筆天橋立図を中心に」

### 連続講座 西湖をめぐる美術と文化(全5回)(有料、事前申込制)

- ②10月6日(土) 板倉聖哲氏(東京大学東洋文化研究所教授)  
 第1回 基調講演「西湖のイメージの成立と展開—東アジアの視点から」
- ③10月20日(土) 梅沢 恵(神奈川県立金沢文庫主任学芸員)  
 第2回 「中世鎌倉における西湖周辺の仏教文化受容」
- ④10月27日(土) 高岸 輝氏(東京大学大学院人文社会系研究科准教授)  
 第3回 「室町・戦国時代における西湖イメージのひろがり—土佐派の絵画を中心に—」
- ⑤11月3日(土・祝) 畑 靖紀氏(九州国立博物館主任研究員)  
 第4回 「雪舟と祥啓—旅する画家がみた景勝—」
- ⑥11月10日(土) 須田牧子氏(東京大学史料編纂所助教)  
 第5回 「遣明使節と西湖」

### ⑦金沢文庫月例講座(事前申込制)

9月22日(土) 梅沢 恵「西湖憧憬展のみどころ」

### ⑧国宝・金沢文庫文書に親しむ講座(事前申込制)

10月14日(日) 貫井 裕恵(神奈川県立金沢文庫学芸員)  
 「室町期東国文化関係史料を読む」

- ◇時間 ①~⑥は13:30~15:30、⑦、⑧は13:30~15:00
- ◇会場 地下大会議室 ◇定員 各講座100名
- ◇受講料 連続講座②~⑥は各回1,000円(全5回申込の方優先)  
 その他は無料(ただし当日の観覧券が必要です)

[申込方法] 詳細は当文庫HPをご覧ください  
 当文庫HPの「講座申込フォーム」、または往復はがき(お一人様1講座1通まで)に、講座名(開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、①は9月16日、②~⑥は9月23日、⑦は9月9日、⑧は9月30日必着でお申し込みください。  
 〒236-0015 神奈川県横浜市金沢区金沢町142 電話 045-701-9069 FAX 045-788-1060



京急線「金沢文庫」駅東口下車、徒歩12分(品川駅より快特で33分、横浜駅より16分)  
 シーサイドライン「海の公園南口」駅下車、徒歩10分(JR根岸線「新杉田」駅接続)

神奈川県立金沢文庫  
 Kanagawa Prefectural Kanazawa-Bunko Museum

(次回の展覧会) 特別展 頭われた神々  
 平成30年11月16日(金)~31年1月14日(月・祝)

